

合同常任委員会

9月定例会8日目(13日)には、総務・文教厚生・経済建設の合同常任委員会を開催。全議案に対し、慎重審議がなされた。

味噌加工場移転、その構想は

〈工藤議員〉
味噌加工場の備品購入費が計上されている。具体的な構想は。

〈産業観光課長〉

既存の久木野ふるさとセンター、のぎく館の2カ所が老朽化し、衛生上の課題がある。あそ望の郷内の漬物加工場を味噌加工場に転用し、自家消費から販売可能な特産品開発にもつなげたい。

〈栃原議員〉

いつ頃から使用できるのか。

〈産業観光課長〉

11月下旬の仕込み時期に間に合うよう速やかに整備したい。

通学路の危険ブロック塀、対策は

〈笠野議員〉

小中学校通学路の危険ブロック、その把握と対策は。

〈教育委員会事務局長〉

村内小中学校の通学路を調査し、

小学校区内で21カ所確認した(中学校区は0)。それを受け、撤去に最高20万円、設置に15万円上限で補助事業を行う。

木の香湯温泉、再建内容は

〈桐原議員〉

久木野温泉センター・木の香湯再建で、設計委託費3100万円が計上された。その再建内容は。

〈産業観光課長〉

再建検討委員会からの答申を元に、建築面積500㎡程度、鉄筋コンクリート造り平屋建て、露天風呂も一部鉄骨造りを計画。財源は、起債や災害復旧費等を見込んでいる。

立野駅周辺整備事業は

〈立石議員〉

立野駅周辺整備事業関連業務委託で1966万。その委託内容は。

〈産業観光課長〉

村は27年度に立野駅周辺整備の基本計画をまとめていたが、28年の熊本地震で、計画見直しに迫られた。立野駅までのJR復旧も進展があるようだ。早ければ31年度に新駅整備に着手する為に、現在の地盤確認が必要だ。駅周辺の地質調査ボーリング4カ所、測量設計、基本計画の見直しの委託費。

地域支援事業は当初予算内で

〈橋本議員〉

きらめく地域づくり支援事業補助金、500万円の補正理由は。補助金を追加補正するのは如何なものか。

〈政策企画課長〉

本年度当初予算で900万円を計上。現時点で昨年を上回る17団体から交付申請があり、追加した。

〈副村長〉

庁内で相当議論したが、地域のやる気をそいではいけないと思い、今回は追加補正した。予算上限や、受付時期の見直し等検討する。

公共施設の跡地利用計画は

〈笠野議員〉

公共施設の跡地計画は、現在どうなっているのか説明を。

〈村長〉

旧久木野庁舎は、村民から図書館要望が強い。民間委託も検討したが費用が高額で断念した。現時点では、1階に土地改良区を移転し、2階を図書コーナー、3階はキッズコーナーで、雨でも遊べるスペースにし、子育て世代が集える施設の活用で固まりつつある。

〈追加説明〉白水地区の3小学校は、2021年4月開校に向けて動いていく。

その他の質問

〈立石議員〉

- 立野ダム対策費、マイナンバーに係る経費、地域開発補助とは
- 防災がけ崩れ対策事業の内容は
- 就学援助費、小中学生の内訳は

〈栃原議員〉

- ふるさと寄付金、返礼品は適切か
- 防災無線、個別受信機購入内容は
- そば乾燥調整施設の進捗は

〈橋本議員〉

- 木の香湯温泉解体、設計委託費と工事内容は

〈太田議員〉

- 29年度一般会計、執行率60%の理由は。執行率を上げ、適時適切な予算編成を

- 災害復旧工事、完了後の契約金額変更の理由は

- 特別職の報酬等審議会の開催を

〈後藤議員〉

- 防犯灯電気代、地元負担の軽減を
- 野焼き再開と維持の為に、防火帯や作業道の整備を

〈今村竜喜議員〉

- 賃貸住宅新築整備促進事業は

〈丸野議員〉

- 立野駅周辺の取り付け道整備を
- 立野地区の災害公営住宅、集会場の新築計画の説明を